

令和3年度全国学力・学習状況調査の  
結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年・義務教育学校第6学年の児童

3 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童に対する調査
  - ・学校に対する調査

4 調査日時

令和3年5月27日（木）

II 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

1 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語	算数
全 国	64.7	70.2
広島県	66	70
府中市	70	74
旭小学校	70	69

※平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

## 2 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。</li> <li>・ 資料を用いた目的を理解する。</li> <li>・ 目的や意図に応じ、資料を使って話す。</li> <li>・ 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。</li> <li>・ 思考にかかわる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う。</li> <li>・ 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。</li> <li>・ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。</li> <li>・ 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。</li> <li>・ 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。</li> <li>・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で使う。</li> <li>・ 文の中における主語と述語との関係を捉える。</li> <li>・ 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。</li> <li>・ 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。</li> <li>・ 速さを求める除法の式と商の意味を理解している。</li> <li>・ 条件に合う時刻を求めることができる。</li> <li>・ 速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる。</li> <li>・ 三角形の面積の求め方について理解している。</li> <li>・ 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる。</li> <li>・ 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる。</li> <li>・ 棒グラフから、数量を読み取ることができる。</li> <li>・ 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。</li> <li>・ データを二次元の表に分類整理することができる。</li> <li>・ 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。</li> <li>・ 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。</li> <li>・ 示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。</li> <li>・ 商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる。</li> <li>・ 少数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準値を1としたときに比較量が示された少数に当たる理由を記述できる。</li> </ul>

### 3 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

#### 【国語】特徴と課題

- ◇ 3三（1）アウエ「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」……例年課題であった漢字の書き取りが、今年度はよくできている。昨年度の丁寧な漢字指導の成果が表れているといえる。（84.6, 65.4, 100.0）
- ◇ 2三・2四「目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける」「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」……正答率が低いものの、全国、県をともに上回っている。これまでの国語科の研究等、継続して指導してきた一定の成果が認められる。（42.3, 38.5）
- ◆ 1一「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」……正答率が低い。筆者の事実と感想の違いが捉えられていないのではないかと考えられる。スピーチ自体の指導にも課題があげられる。（61.5）

#### 【国語】改善策

- 「書く」や「話す・聞く」の学習の際、事実と意見を区別して書いたり話したりさせることや要約させたりすることを意識して指導する。
- スピーチ等の「話す・聞く」活動を積極的に取り入れる。
- ことば探究科の話し方や説明の仕方の学習を生かし国語科と相互に関連付けて指導する。

#### 【算数】特徴と課題

- ◇ 1（2）「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる」……基にする数量を捉えて伴って変わる数量を考えることができる。（92.3）
- ◆ 2（1）「三角形の面積の求め方について理解している」……直角三角形を回転させて底辺と高さを見つけることや、「高さ」の概念が底辺に垂直であることを理解することができていない。また、公式を忘れている。（42.3）
- ◆ 2（3）「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる」……面積を求めず終わっていたり、高さの定義が分かっていたりしない。（23.1）
- ◆ 4（2）「商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる」……文章題のイメージがもてておらず、単純に出てきた順に式に当てはめてしまう。（42.3）

#### 【算数】改善策

- 図形の学習は視覚的にイメージをもちやすいように、プログラミングやICTを活用する。
- 友達と説明し合ったり、友達の意見を他者が説明したりする時間を取る。また、口頭だけではなく、時折説明を文章で書かせる指導も行う。
- 各学年の授業において立式した際に、何が何を表しているのかを確認する時間を設けて指導する。低学年からの問題作り等もしっかり時間を取って指導する。

### Ⅲ 学習状況調査の結果

#### 1 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

<b>肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目</b>
◇（7）「将来の夢や目標を持っていますか」（96.1） ◇（23）「新聞を読んでいますか」（42.3） ◇（24）「今住んでいる地域の行事に参加していますか」（80.8） ◇（27）「あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」（週一回以上 69.2）
<b>肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目</b>
◆（1）「朝食を毎日食べていますか」（肯定的回答 100.0/している 76.9 どちらかといえばしている 23.1）……どちらかといえば食べているという回答がやや多く、危機感を感じる。 ◆（17）「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」（61.6）……「している」だけで見ると 15.4 と低い。進んで計画を立てて取り組ませることも必要である。 ◆（32）「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」（53.8）……表現力に自身がないか。日常的に表現力を育む必要がある。 ◆（61）「英語の勉強は好きですか」（50.0）……授業には意欲的に取り組んでいるが、肯定的に捉えている児童が少ないようである。よく頑張り、身に付いているが、自信が伴っていないようである。今後は自分たちの英語力に気付かせる指導も視野に入れる。

#### 2 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

○「朝食を毎日食べていますか」……学習への集中力や体力向上の為、また、今後も継続して朝食を摂る習慣が続くよう保護者へ呼びかけたい。 ○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」……計画的に学習に取り組む力を養う必要がある。テストを告知してテスト勉強をさせるなど、家庭とも連携しながら取り組む。
--